


整理番号	HT26235	分野	地学, 自然	(キーワード)南極, 微化石, 海, 鉱物
------	---------	----	--------	-----------------------

高知大学

【南極海・南極氷床はどんなところ？～地球の果てから気候変動を探る～】

先生(代表者)	池原 実(いけはら みのる) 高知大学海洋コア総合研究センター・准教授			
自己紹介	高校生の頃に見たNHK「地球大紀行」に触発されて、地球の壮大な姿や変動を探る研究がしてみたいと思ったのがこの道に進むきっかけです。海底の堆積物を使って気候変動のしくみを解き明かす研究をしていますが、最近では南極海に注目しています。南極海には5回も行きました。			
開催日時・ 主な募集対象	平成26年8月8日(金)	(対象)	中学生 高校生	(人数) 15名
集合場所・時間	高知大学 海洋コア総合研究センター	(集合時間)	9:30	
開催会場 (集合場所)	高知大学 海洋コア総合研究センター(物部キャンパス) 住所: 〒783-8502 高知県南国市物部乙200 アクセスマップ: http://www.kochi-u.ac.jp/marine-core/inquiry/index.html			

内 容

南極ってどんなところでしょう？

南極大陸や南極海は一面氷の世界ですが、その下に眠る岩石や堆積物には、南極氷床の変化や気候変動の記録が残されています。南極での調査経験豊富な講師陣が、極寒の南極大陸・南極海でのフィールドワークの様子や研究成果について解説します。

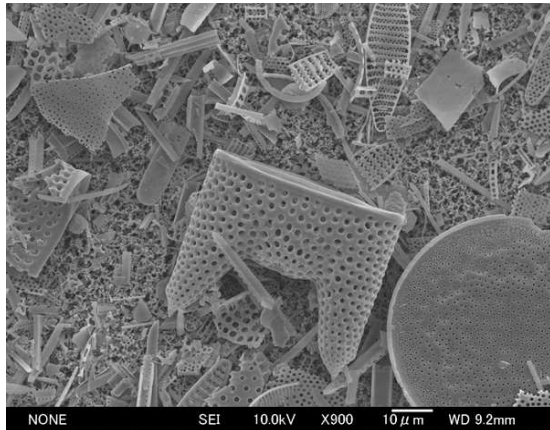
- 講義①「南極観測隊の実態：どのように南極氷床変動を調査しているのか？(菅沼悠介)」
- 講義②「南極海調査の実態：どのように南極海の変動を調査しているのか？(池原 実)」
- 施設見学 海洋コア総合研究センター内にある掘削コア冷凍保管庫(-20℃)に入り、四国では体験できない極寒の世界(南極昭和基地の冬の平均気温)を擬似体験。
- 実習①「南極大陸の砂から宝石(ガーネット)を探しだそう」
- 実習②「南極海の深海堆積物から化石を探しだそう」



南極海の冰山とクジラ



南極氷床上での調査の様子



南極海堆積物から産出した珪藻の電子顕微鏡写真

南極大陸の岩石や砂、南極海の深海堆積物の中にどのような鉱物や微化石が存在するのか、実体顕微鏡や電子顕微鏡を使って観察します。それらを使ってどのように気候変動を復元しているのか実習を通して理解します。

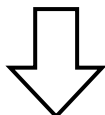
スケジュール	持ち物
9:30-10:00 受付(物部キャンパス・海洋コア総合研究センター集合) 10:00-10:30 開講式(あいさつ, オリエンテーション, 科研費の説明) 10:30-11:10 講義①「南極観測隊の実態:どのように南極氷床変動を調査しているのか?」 11:20-12:00 施設見学「南極大陸を疑似体験(マイナス20°Cの世界)」 12:00-13:00 昼食(研究者, 大学生らと一緒に大学食堂で) 13:00-13:40 講義②「南極海調査の実態:どのように南極海の変動を調査しているのか?」 13:50-15:00 実習①「南極大陸の砂から宝石(ガーネット)を探しだそう」 15:00-15:30 クッキータイム(大学生や講師を交えて) 15:30-16:30 実習②「南極海の深海堆積物から化石を探しだそう」 16:30-17:00 修了式(アンケート, 未来博士号授与, 記念写真撮影) 17:00 終了・解散	上履き 筆記用具
	特記事項

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名 :	高知大学研究国際部研究推進課海洋コア室・岩崎 文佳
住 所 :	高知県南国市物部乙 200
TEL 番号 :	088-864-6712
FAX 番号 :	088-864-6713
E — m a i l :	kk21@kochi-u.ac.jp
申込締切日 :	平成26年 7月25日(金)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
池原 実	H23-25	基盤研究(A)	23244102	南極寒冷圏変動史の解読：第四紀の全球気候システムにおける南大洋の役割を評価する
池原 実	N19-21	基盤研究(B)	19340156	第四紀の東南極氷床・南極環流変動史の高精度復元:氷床・陸棚・深海底トランセクト



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。